



川俣小学校「学校だより」

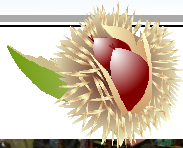
輝くひとみ

令和元年11月15日(金) 第26号

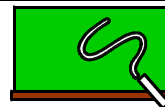
教育
目
標

☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



川俣小授業研究公開迫る



11/21(木)に福島地区の教員約130名が川俣小に集い、授業参観や指導法の協議等を行う「学びのスタンダード」推進授業研究会が行われます。これまで、子どもたちも教職員も「みんなで分かる・できる授業の創造」に向け日々の授業を積み重ねてきました。授業の中で、子どもたちが主体的に学び合う姿や自分の考えを伝え合う姿、子どもたちの考えを深めたり広げたりする教師のコーディネートなどから、授業に対してより意欲的に取り組む子が増えてきたように思います。自分の考えをみんなに言いたくてうずうずしている姿や級友の考えを自分の解決方法に取り入れ、そのよさを実感する姿などは本研究の成果と感じます。みんなでできるようになる！だれひとりとしておいていかない！という学級全体の強い覚悟や真剣に理解しようと受け止めて聞いてくれる級友がいる！という親和的支持的な学級風土がよりよい学びの基盤であると感じています。当日は、単に授業の善し悪しだけではなく、川俣小の子どもたちのそのような明るく前向きで素敵な姿も見いただければと思っています。



おもしろ科学実験！



今週の全校の集い「おもしろ科学実験」では、指1本でいすから立てなくなる人体の不思議を体験しました。いすに深く腰かけ背筋を伸ばしてもらうのがポイントです。あとは額を指で押さえると「立たない」状態になります。なぜそうなるのか、人間がいすに深く腰かけた状態から立ち上がる動作を行ってみると謎が解けます。他にも、万歳の姿のまま左側を壁にぴったりつけると右足が上げられないなどいろいろあります。



ワクワクドキドキと



ドッジボールに鍵盤ハーモニカ演奏発表。何気ない日常ですが、顔を真っ赤に夢中になってプレイする表情には、ドッジボールができる喜びとワクワク感が、また、みんなの目が自分一人に向けられ心臓の鼓動が聞こえるような緊張の中で演奏するドキドキ感が、見ている側にも伝わってきます。いろいろな場面や状況の中でも



精一杯に取り組む子どもたちの内面にも寄り添いながら指導を行う大切さを再認識します。